

令和6年度 衆議院海外派遣 報告書概要

令和6年8月8日

1. 団名

衆議院欧州各国議会制度等調査議員団

2. 目的

欧州各国における議会制度及び政治経済の重要課題についての議会及び政府要人等との意見交換を通じた議会制度調査及び関係強化のため

3. 派遣議員団

団長	議院運営委員会	委員長	山口 俊一（自民）
	議院運営委員会	理 事	武藤 容治（自民）
	同	理 事	後藤 祐一（立憲）
	同	理 事	青柳陽一郎（立憲）
	同	委 員	井野 俊郎（自民）

同行	委員部議院運営課課長補佐	畠山 利行
	委員部議院運営課係長	小池 智英

4. 派遣期間

令和6年7月22日（月）から7月27日（土）までの6日間

5. 派遣国

ドイツ連邦共和国、オランダ王国

6. 主な活動

（1）ドイツ連邦共和国

- ① ドイツの郵政事業の現状について調査するため、オリバー・レセラー
ドイツポストベルリン事務所代表と会談を行い、ドイツポストの沿革・制度・課題等について意見交換を行った。
- ② ドイツ郵便法改正の概要、同省が認識するドイツ郵便市場の現状等に

ついて説明を聴取するため、クリスティーナ・デッカー独連邦経済・気候保護省デジタル・イノベーション政策局長等と会談を行い、日本の郵政事業が抱える課題等について意見交換を行った。

- ③ ドイツにおける尊厳死・安楽死制度について調査するため、パウラ・ピチョッタ独連邦議会議員（医師・日独友好議員連盟メンバー）と会談し、意見交換を行った。
- ④ ドイツ連邦議会を訪問し、ドイツの議会制度について視察を行った。
- ⑤ ドイツの委員会におけるオンライン審議の現状及び議会制度等について調査するため、ミヒャエル・ミュラー独連邦議会議員（日独友好議員連盟会長、前ベルリン州首相、元独連邦参議院議長）等と会談し、意見交換を行った。

（２）オランダ王国

- ① オランダにおける尊厳死・安楽死に係る現状等について説明を聴取するため、山田拓医師と会談し、意見交換を行った。
- ② オランダの議会におけるオンライン審議の現状及び議会制度等について調査するため、レイモンド・デ・ローン オランダ下院外交委員会委員長等と会談し、意見交換を行った。
- ③ オランダ下院議会を訪問し、オランダの議会制度について視察を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。